

2007 年度 日本文化人類学会
第 5 回 理事会 議事録

日時：2008 年 2 月 5 日（火） 13：00～17：00

会場：東京大学駒場キャンパス

出席者：須藤、赤堀、上杉、小田、春日、窪田、関、棚橋、富沢、松岡、三尾、森山、山本、吉岡、
和崎

委任状提出：大塚、スチュアート、瀬川、永渕

[承認事項]

1. 前回（2007 年度第 4 回）理事会議事録

[報告事項]

1. 会長報告

- ・第 19 期会長の波平恵美子氏から寄付金のお申し出があり、「次世代の研究者育成のための資金」として金百万円の寄付をいただいた。

2. 庶務理事報告

- ・新入会員（27 名）につき総務会で入会を承認したことを報告。
- ・2007 年度末の退会者（★★名）について、会費未納者への事前の案内に基づき 2007 年 12 月 25 日付で退会処理を行なったことを報告。
- ・第 23 回評議員選挙の被選挙に関するミスがあり、訂正名簿の再送作業が行なわれたことを報告。

3. 会計理事報告

- ・科研成果公開費の状況報告書を提出した。
- ・波平氏の寄付について、日常的に使用している口座に振り込みを依頼し受理している。本理事会で承認を得た上でその寄付金を「将来計画基金」への支出というかたちで計上することを提案、承認された。その使用に関しては次期の理事会への申し送り事項とすることが確認された。また、波平氏への謝意を学会としてどのような形であらわすのかについて検討が重ねられた。

4. 総務理事報告

- ・文化人類学・民俗学関連学会協議会についてニューズレターを発行するなど連携を強化するための検討を行っている。

5. 広報理事報告

- ・第 42 回研究大会における J-STAGE を使用しての演題登録について、2 月 7 日締切にむかって進行中である。

6. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：72 巻 3 号の刊行、および書評に対するクレームについての報告。また、72 巻 4 号は 3 月末刊行予定である。
- ・JRCA 編集委員会（窪田理事）：JRCA の No. 8 について、順調に編集作業が進んでいる。
- ・研究大会（小田理事）：研究大会分科会参加資格について、学会退会者が分科会で発表できるのかという問い合わせが分科会代表からあった。総務会で検討を重ねた結果、学会誌を受け取っていないながら年会費を支払っていない 1 年間分を必ず支払ったうえでなら発表を認めることになったことを報告。次回の研究大会へも引き継ぐことが確認された。
- ・地区研究懇談会担当委員（上杉理事）：3 月 22 日に開催予定の関東地区の修論・博論発表会が開催される。

松岡理事より、北海道民族学会について修論・博論発表会の発表資格は修了年度の学生に限られるのかという質問があり、検討の結果、地区ごとにその判断は任されることが決定した。

- ・社会調査士標準カリキュラム検討委員会：1月12日に京都大学で委員会を開催し、3月にも委員会の開催予定である。

[審議事項]

1. 2007年度事業報告・2008年度事業計画（案）について
 - ・各担当を確認の上、3月の理事会で最終決定ができるよう3月20日までに小田理事へ各担当からメール報告をするよう依頼。
2. 学会賞選考規程の改正について
 - ・関理事より、学会賞選考過程で受賞資格者の年齢についての規定について疑問が付されたことが報告され、本理事会でも議論が重ねられた。また、投票の際の、記名、無記名については、改めて審議することを確認した。
3. 国立民族学博物館との連携事業に関する協定（案）について
 - ・須藤会長より、民博との間で行っている5つの連携事業についての協定文（案）が提案され、承認された。
4. 倫理綱領（案）について
 - ・松岡理事より、前回に引き続き倫理規定に関して説明があった。規定に関する表現についても細かく議論されたのち倫理綱領案として承認され、その案を次期理事会へ申し送りをする事が承認された。
5. 部会制度の導入について
 - ・須藤会長より、部会制導入についての「日本文化人類学会部会設立趣意書」の提案、小田庶務理事より「日本文化人類学会部会設立規則」（案）の提案があり、それぞれ審議した結果、今期理事会における案として承認された。本決定については、次期理事会への申し送り事項とすることが承認された。
6. 澁澤賞選考委員の選出について
 - ・第34回の澁澤賞選考委員について、委員長についてはすでに内諾を得ていること、新たな委員については候補者が報告され、承認された。
7. 人類学関連学会協議会における活動について
 - ・森山理事より、4月から日本文化人類学会が幹事学会となることの提案があり、承認された。この件に関しては、次期理事会に申し送り事項とすることも併せて承認された。
8. 機関リポジトリへの対応について
 - ・山本理事より、72巻4号以前の『文化人類学』並びに『民族学研究』に掲載された論文等は、個別の著者が著作権を有しているが、73巻1号以後と同様に、電子媒体でのコピーなどを行なう際、「『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準」に準拠することを、総会へ提案するという提案がなされた。これは、次期理事会が決めることであるが、今期理事会からはそのように申し送ることが承認された。
9. 第3回日本文化人類学会賞・学会奨励賞について
 - ・関理事より、選考委員会による選考結果がその理由とともに述べられた。理事による投票ののち、学会賞は田辺繁治氏、学会奨励賞は久保明教氏に決定、承認された。
10. その他
 - ・棚橋理事より、各地区の懇談会の委員に対して3月31日で会計を締めたいと、4月第一週目までに事務局へ決算報告と領収書一式を郵送するよう依頼があった。

以上